

重要ポイント

幼児（小学生中学年まで程度を含む）への必要以上の英語教育は
英語の挫折経験を植えさせ、嫌いを増やしているだけに過ぎない。

英語は日本語にとって「鏡像言語」と理解し
「論理的に思考」する学習が実は一番、短期間での効果を生みやすい。

「深い思考力と鋭い感性は、母語で磨かれます。
ですから、小学生にはまず母語すなわち国語の力を付けさせるべきです。
それこそが、やがて外国語の力を伸ばす基盤となるのです。」

和歌山大学名誉教授（専攻：英語教育学・英語教育史）

江利川春雄 博士

